

## 奈良県中央卸売市場再整備の促進を求める決議

奈良県中央卸売市場（以下「本市場」という）は、全国初の県営卸売市場として昭和52年4月に開設されて以来、約50年にわたり、日本全国各地や世界の産地から野菜や果実、水産物など多種多様な生鮮食料品を私たち消費者の元へ届けるという極めて重要な役割を担ってきました。しかし、時代と共に開設当初とは異なる役割が期待されるようになったことや、施設や設備の老朽化が進んでいることなどから、安全・安心な市場と県民や観光客が訪れる賑わいのある食の拠点を目指して、平成30年3月に再整備基本構想が策定されました。

その中で本市場の活性化に向けた課題として、集荷力、販売力、品質保持・管理機能の強化、業務の効率化・共同化、食の情報発信拠点機能の強化などを挙げて、企業間取引の強化の他、市場のスリム・コンパクト化による余剰地を活用した企業と一般消費者の取引を付け加えることで県民や観光客が訪れる、賑わいのある食の拠点を目指し、民間活力を導入するとしています。

本市場は、国道25号に隣接し、西名阪自動車道や京奈和自動車道、国道24号、大和中央道などを通じて県内各地、また県外各地からのアクセスが容易である交通結節点に位置するという利便性から物流面での高い優位性はもとより「食」を通じた「賑わい拠点化」により、本市場を核としたまちづくりも大いに期待できます。一方、本市においては近鉄平端駅の駅前広場や駅東側アクセス道路の整備を含めた「近鉄平端駅周辺地区まちづくり基本構想」を策定し、本市場のメインゲートにふさわしい場所にするべく、事業を進めています。

よって、県におかれましては昨今の資材価格や人件費の高騰も踏まえ、予算額を見直すなど柔軟に対応するなどして基本方針実施プランのスケジュールどおり事業を進めることで、本市場が1日も早く賑わいのある食の拠点となるよう、再整備を促進していただくことを強く求めるものです。

以上、決議する。

令和8年 3月18日

大和郡山市議会